

一般競争入札（最低価格落札落札方式）に関する質問及び回答（Q&A）

最終更新日 2024年2月27日
独立行政法人情報処理推進機構

件名：「TLS 暗号設定ガイドライン参考文書の更新業務」

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
1	IV. その他関連資料	p.30	(様式4) 適合証明書	適合証明書の記名押印は代理人でも構わないか。	原則として、代表者の記名押印をお願いいたします。 なお、委任状により委任を受けた代理人の記名押印も可ですが、その場合は、代理人の記名押印の他に代表者氏名も記名ください。 併せて、代表者の記名押印された委任状（様式2）を提出ください。なお、有効な委任状をすでに弊機構に提出済みの場合にはこの限りではありません。	2024年 2月20日
2	I. 入札説明書 III. 仕様書	—	—	最低価格落札かつ現状の適合証明書だと、入札額だけで落札者が決まる可能性が高く、正しくドキュメント修正ができない可能性があります。どのような対策を検討されていますでしょうか。	仕様書にて実施すべき内容が明確であり、一定の技術を有する応札者であれば実施可能と考えております。そのため、仕様書 4.3.にて実施体制に組み込むべき要員の条件を付記しております。	2024年 2月20日

3	Ⅲ. 仕様書	p.16-18	4.1 (1)-(3)	TLS プロトコルバージョンについては、RFC によって制限されています。このような標準化動向などは提案時に配慮する必要はあるでしょうか。	配慮する必要はありません。仕様書及び（別紙）説明会補足資料に記載された内容に従っていれば問題ありません。	2024年 2月20日
4	Ⅲ. 仕様書	p.18	4.1 (4)ー	近年のブラウザとしては、10年前と比較してモバイルでの利用が増加しています。その観点が抜けていますが、提案時に検討すべきでしょうか。	検討する必要はありません。仕様書及び（別紙）説明会補足資料に記載された内容に従っていれば問題ありません。	2024年 2月20日
5	Ⅱ. 契約書（案） Ⅲ. 仕様書	p.13 p.19	6 (1)	契約書（案）について、契約締結日が20〇〇年〇月〇日になっていますが、開札日になるのでしょうか？契約日に関して調整可能でしょうか。 また、契約期間が契約締結日になっています。次年度以降の対応とさせていただきたい場合、2024年4月1日、契約締結、契約開始とさせてもらうことは可能でしょうか？	独立行政法人情報処理推進機構入札心得の第17条に契約書の提出について記載しておりますが、落札決定日より5営業日を目安に契約書の作成を予定しています。 なお、契約期間に関しては、ご要望があれば2024年4月1日を開始日にすることは可能です。ただし、それによって納入期限を延長することはありません。	2024年 2月20日
6	Ⅱ 契約書（案）	p.6	第2条2	再請負の届け出において、「事前」とは具体的にどの段階での届け出が必要でしょうか。その場合の提出書面のフォーマットはありますか？	再請負先に請け負わせる前に、書面による届け出が必要になります。 書面は当機構で様式を準備しています。落札決定以降に落札者に対して様式を送付いたします。	2024年 2月22日

7	II 契約書 (案)	p.6	第2条2	<p>(項番6の質問に関連し)</p> <p>再請負についての届け出は、落札後となりますが、入札時は再請負に関する情報は不要でしょうか？入札内訳書の金額証明として再請負先の正式見積の提出が必要となるのか、また適合証明書の要件1番目の実施体制に再委託先も込みで記載するのでしょうか？</p>	<p>入札説明書 p.2 の6. (3)に記載している書類が入札時に必要な提出書類になります。</p> <p>提出書類のうち、適合証明書の要件1番目の実施体制には、再請負先も含めてご記載ください。</p>	2024年 2月27日
8	III. 仕様書	p.17 p.19	4.1 (3) 4.3 (3)	<p>実施要員として、対象となるオープンソースを利用した TLS サーバを過去3年以内に構築した実務経験者を含める旨の記載がありますが、確認対象となる全てのオープンソースを扱える実務経験者を揃えることが必須となりますでしょうか？</p>	<p>対象となる全てのオープンソースを扱える実務経験者を揃えて頂く必要があります。ただし、複数人で分担していただいてもかまいません。また、実際にサービス導入するなどした公開用の TLS サーバの構築だけでなく、テストや試験、開発環境整備の一環などで構築した TLS サーバについても実務経験の範囲内とします。</p>	2024年 2月27日